

## 会 議 要 録

名 称	豊 橋 市 環 境 審 議 会
開催日時	令和2年6月30日（火） 午後1時30分から午後3時45分まで
出席委員数	16人（委員定数17人）
出席委員名	稲垣隆司会長、井上隆信副会長、功刀由紀子委員、見日喜重委員、東海林孝幸委員、浅岡孝知委員、氏原憲志委員、蒲原聡委員、川本恭久委員、鈴木真理子委員、尾崎福子委員、鈴木康夫委員、内藤美子委員、牧眞司委員（名簿順、敬称略）
事務局職氏名	環境部長／山本誠二 環境政策課長／小林正彦 廃棄物対策課長／田村明浩 環境保全課長／牧野大公 再生可能エネルギーのまち推進課長／林真也 環境政策課 課長補佐／夏目幸宏 課長補佐／井上知之 主査／杉浦夕紀子 主査／三木寅男 担当／朝倉義智 廃棄物対策課 主幹／三ツ矢耕己 環境保全課 補佐／中野利昭 主査／向谷仁志 施設建設室 主幹／稲垣直樹 収集業務課長／若子尚弘 資源化センター長／提髪宏彰 施設建設室長／前田隆男 埋立処理課長／田邊章裕
議 題	(1) 第2次豊橋市環境基本計画の進捗状況について（資料1） (2) 第3次豊橋市環境基本計画の策定について（資料2） (3) 第2次豊橋市廃棄物総合計画の策定について（資料3） (4) 報告事項等 ①第2次豊橋市地球温暖化対策地域推進計画の策定について（資料4） ②豊橋田原ごみ処理施設整備の検討状況について（資料5）
議事の概要	1. 会長あいさつ 2. 開会 3. 議題等 (1) 第2次豊橋市環境基本計画の進捗状況について（資料1） (2) 第3次豊橋市環境基本計画の策定について（資料2） (3) 第2次豊橋市廃棄物総合計画の策定について（資料3） (4) 報告事項等 ①第2次豊橋市地球温暖化対策地域推進計画の策定について（資料4） ②豊橋田原ごみ処理施設整備の検討状況について（資料5） 質疑応答（別紙のとおり） 4. 閉会
署名	

## 環境審議会会議録

日 時：令和2年6月30日（火） 13：30～15：45

場 所：市庁舎東館13階 講堂

委員数：16人／17人

1. 委員の委嘱
2. 会長あいさつ
3. 委員紹介
4. 開会
5. 議題等

(1) 第2次豊橋市環境基本計画の進捗状況について（資料1）

会 長：事務局より、議題の「第2次豊橋市環境基本計画の進捗状況について」説明してください。

（事務局より資料1について説明）

会 長：事務局より説明いただきましたが、何かご質問・ご意見はございますか。

委 員：環境目標Ⅳの指標のうち下水道普及率について、平成28年度以降減少しており、これは下水道整備されていたところがなくなったのではなく、下水道整備されていないところへの宅地開発が進んだことが影響していると思いますが、今後どういう政策をしていく予定なのでしょうか。

事務局：新築家屋については合併処理浄化槽の設置が義務付けられています。合併処理浄化槽は下水道と同等の水質基準となっており、環境部局としては単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促すことが最大の施策となります。

委 員：豊かな自然を守る、という時に、どこまで開発するのか、環境部局としてもそういった視点で見てもらえると良いかと思います。

会 長：単独処理浄化槽の普及率はどのくらいでしょうか。

事務局：浄化槽29,900基ほどのうち、単独浄化槽は16,500基、合併処理浄化槽が13,400基となり、まだまだ単独の方が多い状況です。

(2) 第3次豊橋市環境基本計画の策定について(資料2)

会 長：事務局より、続いての説明をお願いします。

(事務局より資料2について説明)

会 長：事務局より説明いただきましたが、何かご質問・ご意見はございますか。

委 員：高齢化に対して独居老人が増えてきていると思います。ふれあい収集とはどのように申し込まれてくるのでしょうか。

事務局：現在、ふれあい収集は453世帯の方を対象に行っています。ほぼケアマネージャーや民生委員を通じて申し込んでおり、地域の方と連携しながらやっています。基本的には直営職員が取りに行くのですが、地域の方が担って頂ける場合もあります。

委 員：今の体制で対応できているのでしょうか。

事務局：まさに課題と認識しています。これからも独居老人の方は増えてくると思いますので、地域の方との連携を含めて対応していかなければいけないと考えています。

委 員：基本計画は10年間の計画でしょうか。決まってしまうたら変わらないのでしょうか。家庭にいる女性は、生活の中で環境を考えており、実行しているのも主婦が一番多いと思います。リサイクルやごみを減らそうと思うと、わかりやすい言葉で伝えてほしいと昨年からお願ひしています。古紙リサイクルという言葉を変えていただきたいと思います。このままでは、また10年間、古紙という表現となってしまう。資源紙など理解できる言葉に変えてはどうでしょうか。市民にはピンとこない言葉だと思います。

事務局：令和元年度のごみ減量推進検討委員会で出された意見かと思いますが。一般的に古紙は全国的に使われている用語なので、今後も使うことになると思いますが、市民が見た時にわからないという点もあるので、基本計画の中でどういう意味なのかしっかり記載していきたいと思います。

委 員：かっこ書きでの記載や耳で聞いた時の表現も検討していただきたいと思います。

会 長：市民が取り組まれてこそそのことなので、例えばPR版を作る時にわかりやすい用語の使用も考えるなどしていただけると良いのではないのでしょうか。

事務局：市民がわかりやすい表現をとることが大事だと考えています。

委 員：5つの環境目標について、第2次計画とほぼ同じだと感じます。この10年間は何かあったのだろうか、何が変わってどうしていくのか、アピールしていくところが

見えないような気がします。新たに SDGs の考え方があると思いますが、計画の中でどういう風に取りこまれているのか、なかなか見えてこないように思うので、もう少し考えてもらえると良いと思います。骨子案の基本理念「ともに変わろう地球と私たちの未来のために」は良いと思いますが、事業者はどう変わってほしいか見えてこないと思います。

事務局：構成については現計画とは基本的には変わりませんが、中身については大きく変わっていると考えています。例えば、プラスチックごみなどは統合的に対策を考えていこうとしています。食品ロスも同様であります。中身については、しっかり認識した上で、考えていきたいと思っています。基本理念については、いろいろな考え方があると思いますが、短い言葉で中身についてしっかり伝えることで対応していきたいと考えています。

会長：今言われたことが、骨子のところでさらっと書いてあるので、もう少し今の課題がどうなのかを書くの良いのではないかと私も思います。現状のところで課題をしっかりと出すと良いのではないのでしょうか。

委員：食品ロスについて、どの程度抑えられるのかという定量目標はあるのでしょうか。

事務局：フードバンクなど、フードロス対策はいろいろありますが、環境部が管轄しているわけではない部分もあり、何らかの目標を示す上で、担当部局に話していきたいと思っています。

委員：気候変動の適応のところで書いてあることですが、環境目標Ⅱの豊かな自然を守り育てるという視点でも、気候変動に柔軟に対応して生物多様性の保全を図っていくという点を入れてもらえると良いのではないかと思います。

事務局：環境目標Ⅰの3.気候変動への適応の部分で具体的には記載していませんが、環境目標Ⅱのところでは、例えば、森林整備やため池の管理をしっかり行うことで、台風での大雨の際などに気候変動への適応をしていけると考えています。いろいろな分野に渡り、横串しをさすような考えで対応していきたいと考えています。

委員：第2次計画から第3次計画に移った時、計画によっては引き継ぐべきものもあると思います。そのあたりは分けて良いのではないかと思います。

資料2の22ページにある、環境保全型農業はどういったもののでしょうか。

事務局：引き継ぐべきものについて、例えばふれあい収集は平成14年から実施しており、今後も対応しなければいけないと考えています。

環境保全型農業について、産業部からは、低農薬や農業用プラスチックの削減に取り組んでいると聞いており、そのあたりを充実していきたいと考えています。

委員：食品ロスについて、フードバンク事業支援として農水省が盛んにっていますが、個人的には食品ロス対策としておかしいと考えています。そもそもの食品ロスを減らす必要があると思います。いろいろな取組がありますが、国が推進しようとしている取組がたくさん並んでいると思います。そのため、第2次計画からあまり変わっていないように感じます。豊橋独自の取組をまずは最初に出していいのではないのでしょうか。先ほどの質問にもありましたが、今回第3次計画でSDGsの話がありますが、どう関わっているのかよくわからないと思います。SDGsのアイコンも付けるのも良いと思いますが、この中にSDGsの考え方が具体的にわかるようにしていただけると良いと思います。

事務局：食品ロスについては、個々の事業が環境部では取り組むことが難しい部分でもあり、これからは庁内各課がどういうことをやっているのか、環境部としてできることを投げかけられるようにできればと考えています。SDGsについては17のゴールと169のターゲットがあり、網羅的に取り込むのは難しいと思います。意識の中では色々なところで関係しているとは思っていますが、計画の中では重点取組の中でしっかり整理していきたいと考えています。

会長：第2次計画でせっかくやって、どういう課題が出てきたか、別紙を見てもつながりがわかりにくいと思います。環境像のところでも環境・経済・社会の3つが重要としていますが、目指す状態と記載しているところを見ると、書いてあることがわかりにくいので、どういう課題がそれぞれにあり、どういった取組が必要なのかわかりやすくしていただきたいと思います。例えば、環境の中で地域の専門家の維持、担い手の育成など、急に出てきてもわかりにくいと思います。

委員：市内の小学校で生き物調査などをやってきていますが、今はほとんどどこでも生き物が一緒に画一化してきています。理由は3つあると思います。その1つには豊橋は基幹産業が農業ですが、除草剤が輸入もの、農薬散布などで、どこでも同じような状態になってきています。従って耐えうる生物だけが増えています。豊橋版のメリハリのあるものになれば良いと思います。

事務局：生き物の画一化については、生物多様性が危ぶまれているということが身近にわかる例だだと思います。具体的な紹介をしていけるとわかりやすいと思います。農

薬や除草剤による影響についても、「大気や水環境の保全」内の化学物質のリスクにおいて記載していければ良いと考えています。

会 長：今後の進め方はどうなっていますでしょうか。

事務局：正確な日には後程お伝えしますが、今回はパブリックコメントのための素案を審議したいと思っています。

会 長：まだ意見をいただく場はあると思いますので、次の議題に移りたいと思います。

### （３）第２次廃棄物総合計画の策定について（資料３）

会 長：事務局より、続いての説明をお願いします。

（事務局より資料３について説明）

会 長：事務局より説明いただきましたが、何かご質問・ご意見はございますか。

委 員：マニフェストの提出時に使用する紙量が非常に多い状態です。環境部がペーパーレスに移らないといけないと思います。産業廃棄物業者とネットワークを作って、積極的にペーパーレス化や IT 化をしていけると良いと思います。いかがでしょうか。

事務局：おっしゃる通りだと思います。現在、電子マニフェスト制度が始まっていますが、年間 50 トン以上を排出される事業者で始まっており、小さい事業所についてはまだ進んでいない状況です。そういった制度が浸透していくように啓発していきたいと思っています。

委 員：排出事業者、収集運搬業者、処分業者 3 者がそろってはじめて整うことだと思います。

事務局：おっしゃる通りで、業界全体での対応が必要です。

委 員：次期計画において環境基本計画の内容は盛り込むことになるのでしょうか。

事務局：現在精査中ですが、個々の施策においては内容を盛り込みます。

委 員：昨年度、埋立処分量が増えたと聞いていますが、昨年 3,900 トン増でこれをごみ排出量に入れると、昨年度のごみ排出量が増えたと考えのでしょうか。ごみは減ったけれど最終処分量は増えたのでしょうか。

事務局：ごみ排出量は、最終処分量を含んだ数字となっています。

委 員：今年度は、3 月～5 月とコロナウィルスの影響で、異常なごみの排出量になると思います。

#### (4) 報告事項

##### ①第2次豊橋市地球温暖化対策地域推進計画の策定について(資料4)

会 長：事務局より、続いての説明をお願いします。

(事務局より資料4について説明)

会 長：事務局より説明いただきましたが、何かご質問・ご意見はございますか。

委 員：7月1日からレジ袋が有料になります。豊橋市のごみ袋の材料は何でできているのでしょうか。民間の店ではCO2削減の袋が使われています。豊橋市のごみ袋は、CO2削減のための材料が使われているのでしょうか。

事務局：まだ使っていない状況です。

委 員：なぜ豊橋市は使っていないのでしょうか。ごみ減量推進検討委員会での検討の際にもバイオ素材の袋を使ってはどうか、という提案をしました。それでも環境先進都市と言えるのでしょうか。

会 長：他の市町村も含め、まだそこまで進んでいないところが多いと思います。ただ市民からの声は大きいと思うので、ぜひ一度考えていただきたいと思います。

委 員：マイクロプラスチックにならないような材質に変えるという、両方の問題に対応することは難しいと思いますが、ぜひ考えていただきたいと思います。

会 長：次の議題に移りたいと思います。

##### ②豊橋田原ごみ処理施設整備の検討状況について(資料5)

会 長：事務局より、続いての説明をお願いします。

(事務局より資料5について説明)

会 長：事務局より説明いただきましたが、何かご質問・ご意見はございますか。

委 員：スケジュールについて、10年ぐらいかけて整備を行うということですが、資源化センター停止中にたくさんごみを受け入れることができなくなると思います。排出抑制の目標値を厳しめに設定する予定はあるのでしょうか。田原市からのごみは受け入れない予定でしょうか。

事務局：現状、目標よりも低い数値にするように考えています。

事務局：田原市からの受け入れについては、現在協議しており、今後の整備計画の中で示していきたいと考えています。新施設では田原市からのごみを受け入れますが、

そこまでの過程においてもいろいろな協力をしていきたいと考えています。

会 長：大変だと思いますが、ごみを減らすというところを大前提としていただきたいと思います。

委 員：現敷地内での整備に変更することにより、費用が1.5倍ぐらいかかるのではないかとと思うのですがいかがでしょうか。また土地が取得できなかったということですが、地権者とうまく相談できなかったようで残念です。熱意をもっていけば売ってもらえたのではないかと思います。どこまで努力されたのでしょうか。

事務局：長い期間を経て一定の理解を得ながら進めてきました。地権者の方は自分の土地に対する思いが非常に強く、条件が合いませんでした。幹部級の者が行ってお願いもしましたが、残念ながらご理解が得ることができませんでした。

委 員：今後かかる負担のことを想定すると、1,000万円や2,000万円ほど高くても、買うべきではなかったのでしょうか。

事務局：市としては、不動産鑑定等の価格を前提として対応しており、他の方への対応と同様に、売ってくれないから価格を上げるという考えはできませんでした。

会 長：費用対効果等も考えたのではないのでしょうか。

事務局：強制的な手段は考えましたが、結果的に焼却施設が一番早くできる方法を選択するというので、計画案の変更に落ち着きました。

委 員：現施設には一般市民からの持ち込みもあると思いますが、工事による影響はないのでしょうか。

事務局：工事中は一般市民の持ち込み制限が必要になるかどうか、現在検討しています。

委 員：周辺道路の整備もあわせて考えているのでしょうか。

事務局：実は一般市民の車両でのごみ持ち込みが一番多く、GW期間中もかなり混雑していました。時間帯を分けて対応するかどうかなど、現在検討している状況です。

## 6. その他

次回は11月5日（木）を予定。

会 長：本日はここまでにしたいと思います。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

事務局：本日は大変お忙しい中、ご審議いただきまして誠にありがとうございました。以

上をもちまして、令和2年度第1回豊橋市環境審議会を閉会とさせていただきます。お疲れ様でした。